

ガーデンシティみしまの推進（中郷温水池公園整備事業、 ガーデンシティみしま花飾り事業）

アナ： 『市長が語る 2016 三島』 第7回の今日は、ガーデンシティみしま推進事業の中から「中郷温水池公園整備事業」と「ガーデンシティみしま花飾り事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： まず、「中郷温水池公園整備事業」について教えていただけますか。

市長： 皆様も中郷温水池はご存じのことと思いますが、中郷温水池は源兵衛川の湧き水を稲作用水として利用するために、水を温める溜め池として昭和28年に整備されました。平成8年から平成10年にかけて多種多様な生物の生息地（ビオトープ）として再整備され、周囲には木々が植栽された気持ちの良い散策コースとなっています。

池の南端は、逆さ富士が美しく映る絶好のビューポイントとして知られており、平成18年度には「静岡県景観賞最優秀賞」を受賞しています。

この中郷温水池を、楽寿園から源兵衛川や大溝川を經由して松毛川までの水辺景観ルートの中継点とするため、県の補助金を活用して、平成27年度から引き続き都市公園としての整備を行います。

アナ： その整備内容を詳しく教えていただけますか。

市長： 中郷温水池は既に公園の要素を持った整備がされていますので、大規模な工事を行わずに、水辺景観の特性を生かして、以前に飲食施設のあった北側部分と池の南端部分の整備を中心といたします。

北側部分の整備につきましては、水辺景観ルートなどをウォーキングされてきた方々が休憩できるオープンスペースの確保と公園内遊歩道の整備、そして、水と緑のシンボリックな草花を植栽し、散策される方に四季折々の風景を楽しんでいただきたいと考えています。

また、お体が不自由な方やご高齢の方などのため、駐車スペースの整備も予定しています。

池の南端の主な整備につきましては、水面に映る富士山のビューポイントとなるよう、芝生を張りベンチを設置してゆったりと休息できるスペースをつくりまします。

アナ： この度の整備によって中郷温水池がリニューアルされ、ガーデンシティのシンボリックな公園となりますね。

次に「ガーデンシティみしま花飾り事業」についてお伺ひします。

市長： ガーデンシティみしまの取り組みにつきましては、これまでも多くの市民をはじめ自治会、NPO、企業の皆様と協働で進めているところです。その基幹事業でもあります「大通りの花飾り」は平成23年度にスタートいたしました。平成26年度からは芝町通りにも「立体花飾り」の設置を行っており、花という彩に連続性を持たせることで、より多くの方に街中を散策していただけるよう整備を進めているところです。

また、地域の方々や企業の皆様に主体となっていただき実施している「花壇活動」というものがあります。これは、地域の方が緑化チームをつくり、あるいは企業が社会貢献の一環として花壇の管理などを行っていただくもので、この活動の輪も着実に広がりを見せています。

多くのボランティアの皆様との協働でこのような維持管理を行うことで、今では市内各所で一年を通して美しい花が咲き誇り、市外から訪れた多くの方々から「三島の街並みは華やかで美しい」とお褒めの言葉をいただくようになりました。

三島市の取り組みのもう一つの大きな柱である「スマートウエルネス事業」の推進に伴いまして、最近では市民の皆様の健康に対する意識が高まり、市内のいたるところでウオーキングをされる姿が見受けられるようになりました。多くの皆様が楽しく歩ける街並みづくりにもつながるものと考えております。

アナ： このようなガーデンシティの取り組みが進みますと、さらに多くの市民の方達が三島の街をウオーキングされることでしょうかね。

市長： そうですね。

公園整備も花飾り事業も、ガーデンシティの推進だけではなくスマートウエルネスとの相乗効果も期待できますので、積極的に取り組み、市民の皆様の健康づくりにもつなげていきたいと考えております。

アナ： これからも、「美しく品格のあるまち」そして「“健幸”なまち」にふさわしい三島市となるような取り組みを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。